

2017年11月18日

# 老子会会報

老子会 主催

第002号



## 老子会のモットー

「老子の道の精神を生かし、自分を変え、世界を変え、未来を変える」をモットーに、世界平和・人類の幸福を推進していく。

老子



### 第45回老子会から

第45回老子会は2017年10月14日(土)に甲南大学6-33講義室で実施しました。

今回は「仏教の受容と伝播に見る老子」というテーマで「特別編」講義を行いました。下記のようにダイジェストしました。

中国では外国の宗教である仏教を受容する方法として、サンスクリット語=梵語からの漢訳から始まる。梵語は複雑な語尾変化を有するのに対して、漢字は一字一字独立した意味を持つ表意文字であり、まったく語尾変化をしない孤立語である。

インドや西域の僧と中国人が協力して翻訳をなすのであるが、インドや西域の僧は中国語を完全にマスターしているわけではなく、また、中国人は仏教思想、用語に精通しているわけではないので、翻訳の困難さは想像以上であったろう。

仏典の漢訳において、翻訳僧が単独で漢訳するのではなく、多くの場合、翻訳僧が口語訳したものを中国人が文章語に定着し、さらに文章を飾ったりすることである。また、中国語の表現は古典(故事・典故など)を踏まえた表現が美しい文章の条件とされるので、古典の素用を身に付けた中国人翻訳者は必須条件である。中国語に翻訳した仏典がまず中国に定着して、中国人の仏教として開花する下地が出来たと言えよう。また、東アジア全域に漢訳大蔵経を中心とする仏教文化圏が成立する言動力となったのである。

外来思想の流入には、従来の土着の思想と対決、妥協を経ずして定着することは不可能である。仏教という外来の宗教を受容する中国にも、すでに高度な政治哲学、論理思想を含む儒教思想や無為自然の道(タオ)を説く老荘思想は中国人社会に知られていた。土着思想、伝統思想との交渉を無視しては、仏教の中国的変容を理解できないであろう。

儒教の徹底的な現世主義とインド仏教の出家主義との対決は、中国仏教の現実主義的特色を形成している。

中国の全体的な歴史から見て、仏教はほぼ完全に国家体制の中に組み込まれていた。明清時代になると、仏教も思想的な急進性を失い、「儒・仏・道」の三教一致思想を受け入れ、また、自ら主張するようになった。

老荘思想についていえば、仏典の翻訳が盛んであった六朝時代に老荘思想が流行していたこと、宗教語彙を翻訳するのに適当な語彙が『老子』『莊子』に最も多かったこと、仏教と老荘思想の間に思想的な類似性があったことなどを理由として、仏典の漢訳の段階ですでに老荘思想の語彙が多く用いられているのである。これは、中国人の仏教理解に大きな影響を与えたと考えられる。語彙は、人間が世界を認識する枠組みを定着化、具現化させたものであり、人間の思惟は言葉に大きく規定されるからである。

仏典に多くの『老子』『莊子』の語彙が見られる。例えば、ニルヴァー(「涅槃」ねはん)は「無為」と、ボーディ(「菩提」ぼだい)は「道」と、パーラミター(「波羅蜜」はらみつ)⇒「度無極」と訳された。『老子』における最も重要な概念は、宇宙と人生を貫く根源的真理である「道」であり、この「道」が人間のあらゆる作為を越えていることを「無為」と表現するのである。(胡金定)

## アンケート集計結果

Q1：今回の勉強会のご感想・ご意見を教えてください。

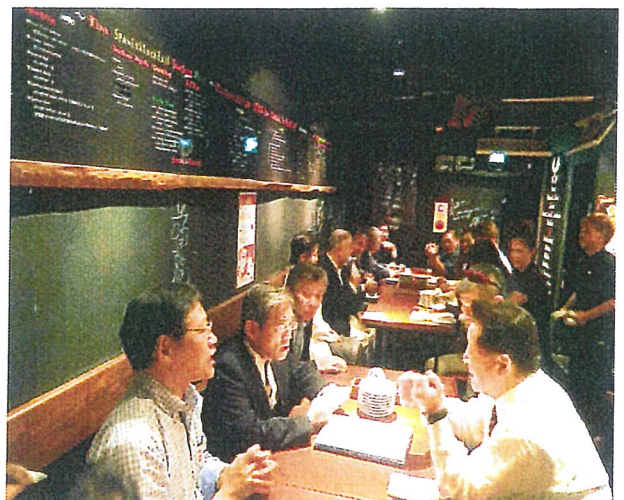
- ・クイズは、楽しく勉強になった。2人
- ・中島氏の発表内容は、良かった。エースの創業者の立志伝は興味深かった。11人  
ミニ講演は個人、そして故人の歴史であり、参考になり興味深かった。  
発表時間に制約があるので、纏め方にひと工夫が必要。2人  
発表者個人の歴史、思想、生き方等ももっと盛り込めば良かった。1人  
伝記モノには興味を惹かれる。1人  
DVDという視覚に訴えるのは、大変に適切な対応でした。2人
- ・参加者の学びの発表会は、益々充実させ発展させていくことが、各人のモチベーションも更に上がっていくことと期待したい。1人
- ・胡先生の講義は、少々難かしいと感じたが、大変に良かった。4人  
関連する様々な角度からの講義は有益であると感じた。更に勉強を決意した。4人  
仏教の受容と伝播の歴史の深さを知る。現在の社会にどう活かすか？課題とする。9人  
学問仏教が中国では実践仏教がマッチしていることを知る。  
先生の雑感を学びたい。学びの資料をもっと知りたい。何かが変わる。自身が変化する気がしている。5人  
有償でも結構です。プリントして配布して頂きたい。1人
- ・次回機会があれば、参加したい。1人

Q2：今後の老子勉強会に対するご希望

- ・授業の時間が足りない。1人
- ・何でも食欲に学びたい。3人 → もっと具体的な方策があれば、学びたい。1人
- ・「老子会」の学びの時間は、胡先生が主体なので、1時間半をタップリと。1人
- ・授業開始時間・授業の時間厳守を。せめて10分前には揃うようにしたい。2人
- ・継続して参加してしたい。4人
- ・トイレ休憩が必要では？1人      ・部屋が寒く、エアコンを適切に！1人
- ・今後の自身の人生に活かしたい。2人
- ・マンネリを回避する為に、春・秋2回程度の課外学習の実施を。例：「歴史の道」歩き。企業ミュージアム等、1人
- ・参加者の相互意見交換の時間も必要か？一方的な学習会では無いのが良い。2人
- ・月一回の土曜日に限定されず、他の曜日でも開講を希望する。1人 → 研究会に参加？  
胡先生の授業参加は可能か？
- ・現状で問題無し。この流れを堅持して貰いたい。1人



懇親会の様子



## エース創業者「新川柳作物語」

中島 崇夫



先日の老子会でのエース創業者ご紹介、熱心にお聴き頂き感謝申し上げます。新川柳作が、1940年創業のエース株式会社の根本理念は、「商事是亦報恩道」です。新川は「正しい商売を行うには、正しい商品を作ることだ」と、強い信念を持ち、朝礼の場に立つ時は、社員に繰り返し話しておりました。エースは「企業」ではなく、「喜業」でなければならない！「良い商品を作る喜び！良い商品売る喜び！良い商品を買う喜び！」作り手、売り手、買い手（お客様）の三者が喜びを伝え合える循環の輪を作り出すのがエースの経営理念で、「喜業」の原動力です。商人に嘘偽りがあっては失格です。商人は驕りを捨てねばいけません。ビジネスとは、正しい理念を持って、社会のお役に立つものでなければ意味はありません。新川柳作は生涯、この強い信念を持ち、カバン作りを、自分自身の天職として、

その生涯を完全燃焼いたしました。

少年時代の逆境で培った強靱な人間性をバネに、1番目、日本初となるナイロンバッグの開発に成功！2番目、米サムソナイト社と提携し、ケースの国産化に成功し日本人に合う商品を作り、スーツケースを日本の国民的商品にまで育てあげた！3番目、会長に就任後、中国への恩返し事業として始めた中国工場建設が、日中双方の理念がかみ合い、20年前、上海に当時世界最大級の、カバンの生産拠点を完成した。一人の人間の短い人生の中で、3つもの偉業を成し遂げた新川柳作という人間の強さはどこにあるのだろう？と、私は、いつも考える時、ある創業者の言葉を思い出します。「中島君、ご縁は大事にするもんや！ご縁を大事に出来ん人間は運も開けんからな」新川の幼少期、母親から「自分の事より、友達の事を先に考えなさい！」と厳しく言われて育ったからか、他人への気遣い心使いは徹底していたように思います。吉川英治先生ともご縁ができ、先生から頂いた『我以外皆我師也』を座右の銘として、多くの人達と素晴らしい御縁を繋いでまいりました。そうした皆様との御縁が、新川柳作を「カバン業界のエースとして育て上げ、世に送り出してくださったモノ」と私は考えております。「念ずれば花ひらく」私は、念ずれば、道は開けますが、その道を自分の足で、しっかり歩いてこそ、良い御縁とつながり、大勢の人達の力を、お借りして、初めて花を咲かせる事が出来るんだ！と、新川柳作の下で長年働いて来て、そう感じるようになりました。

「我以外皆我師也」皆様、今後とも、御指導、御鞭撻宜しくお願いいたします。

合掌。

中島崇夫 10月19日





石井政氏は1949年、兵庫県尼崎市で生まれ、大阪市立本庄中学校を優秀な成績で卒業するとともに、株式会社不二家に入社し、洋菓子製造部門に配置されました。その後、同社のレストラン調理・サービス部門に配置転換して、不二家ロードサイドレストラン店長に昇格しました。

2002年、株式会社不二家を退社して、政治家に道に進み、三重県名張市議会議員、教育民生常任委員長、総務企画常任委員長、市議会監査委員を歴任したあと、2013年、名張市議会議長になりました。2013年、社会福祉法人弘仁会の理事に就任して、2014年、市議会議員を引退しました。現在「老子会」事務局長をしています。

特技：洋菓子デコレーション・イタリアン料理など多様な才能の持ち主です。

#### 勉強会の報告

老子会の皆様には、いつも大変お世話になりありがとうございます。

10月度の老子会は、甲南大学で実施し26名の方にご出席いただきました。中島崇夫氏より『エース創業者と私』と題しミニ講演していただきました。新川氏の志を貫くエピソードや中島氏との苦労談にユーモアを交えた話を興味深く聞き入りました。交流会は「スペインバルトレド」にて20名の参加者でスペイン料理を囲みながら大いに盛り上がりました。終了後は、有志でカラオケを楽しみました。11月度も万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い致します。

深秋の候、お身体をご自愛の上ご活躍ください。

事務局長 石井 政

#### 老子会ニュース

1. 2017年10月14日現在老子会の正会員数は34人になりました。
2. 藤田憲一理事は会社の賛助会員として10万円の会費を振り込まれました。

#### 勉強会の予告

1. 第47回老子会は2017年12月17日(日)17時から道頓堀ホテルで実施します。今回は勉強会+忘年会 奮ってご参会をお願い致します。
2. 第48回老子会は2018年1月20日(土)甲南大学6-33教室で実施します。



# 老子会

〒658-8502

神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学 国際言語文化センター 胡金定研究室

電話: 078(435)2353

FAX: 078(435)2545

E-mail kokintei@center.konan-u.ac.jp